

# NPO 在宅ケアを支える診療所・市民全国ネットワーク

## 第 21 回全国の集い in 北海道 2015 企画紹介文

企画名	
市民向け企画「いのちを繋ぐ」 ～さまざまないのちの繋がりの場面からひとは何をとおしえ合い、未来に結ぶのか～	
開催日時	2015 年 10 月 12 日 月曜日・祝日 午後 13:10～
対象者（対象とする職種や参加いただきたい方）	
①一般市民の方々 年齢や性別、職種など何も関係なく、小学生～大学生まで学生さん大歓迎	
②医療に関する他職種の方々	
企画概要／	
<p>「いのちを繋ぐ」がテーマ。〈シンポジウム形式〉</p> <p>ライフサイクルの中のいのちの考え方と繋ぐこと、コミュニティが繋がって行くこと、そこから多様な世代が「いのち」「生活のなかでどう手を結び、繋いでいくか」というキーワードで展開します。いのちの現場を目の当たりにし、よりよい生へ、よりよい死へ繋ぐシンポジストと、地域を繋いできた基調講演の演者が多世代の「いのちを繋ぐ」という1つの世界の中で語って頂きます。</p> <p>・座長: <u>更別国保診療所 所長 山田康介</u> 所長</p> <p>・基調講演: <u>地域福祉推進アドバイザー 鳥居一頼</u> 先生</p> <p>教育は人間性を高めていくか？人間らしく生きていくためには、どうあるべきか？「いのち～いのち」をどうつないでいくかを伝えていく。</p> <p>〈シンポジスト〉</p> <p>・<u>札幌西陵高等学校 横山美紀</u> 教諭</p> <p>保健体育教諭。リンパ脈管筋腫症で臓器移植で生命を蘇らせた。自分の体験をもとに、家族や地域の支えあい、いのちとは？を多感な年代の生徒たちと日々向き合いながら「いのちの授業」を考えている。</p> <p>・<u>生涯医療クリニック さつぼろ 土畠智幸</u> 院長</p> <p>人工呼吸器装着患者、在宅患者、小児の在宅医療を必要とする病態のすべてに対応している。当事者に関することでいのちの意味を見出し、地域に伝えていくことが必要だと感じている。患者中心の医療とはどのようなことなのかを問い、伝えていく。</p> <p>・<u>三角山放送局 株式会社らむれす 代表取締役 木原くみこ</u> 氏</p> <p>自分が前職で気づいたこと、「ひとりぼっちだった」</p> <p>住んでいる地域の隣の人も知らない、ということに仕事をやめてから気づいた。</p> <p>そしてこの放送局を創った。パーソナリティは・障がいのあるひと・声の小さなひと・高齢の方、など当事者。いのちと向き合うパーソナリティは市民のところに何を伝え何を繋いでいるのか伝えていく。</p> <p>様々な「いのち」の繋ぎ方を聴くこと、感じることで会場の一人ひとりが今あるべき役割を考える場となれることを期待しています。</p>	